

平成二十六年年度

修士論文・卒業論文題目

大学院文学研究科

〈歴史学専攻〉

相川 健太 ローマ帝政前期におけるアリメ

ンタ制度

〈文化財学専攻〉

北原 美希 神域の境界標示―日本における

事例とその意識―

佐藤 理恵 縄文時代の生業からみた土偶祭

祀の検討―特に九州地域を中心

として―

種村 英大 「野」と「山」の環境歴史学―

くじゅう・阿蘇を中心として―

史学・文化財学科

〈日本史・アーカイブズコース〉

荒木 萌子 三島村上氏とその周辺勢力との

関係性について―河野氏と毛利

氏を中心として―

生田すみれ子 領事裁判権と治外法権をめぐる

問題について

今永 稔久 黒田官兵衛の豊前六郡支配

岩崎 直人 明治前半期の地方自治制度の変

容について

岩瀬 有紀 日露戦争の民衆の生活―全国と

大分県をみて―

岩本峻太郎 割符の一考察―東寺領備中国新

見荘関係資料を中心として―

上田 史華 女たちの大奥

衛藤 恵 大分県の自由民権の胎動

大坪みつぎ 幕末の江戸城大奥―家茂期を中

心に―

川井田 光 江戸の三大改革

城戸 琴美 石田三成について

具志堅靖知 石垣原合戦を中心とした官兵衛

の九州攻略戦

國澤 修平 五馬市村森家「宗門御改帳」の

機能的分析―アーカイブズ学的

資料論の応用―

児玉佳奈美 明治維新における裸体文化の移

り変わり

小柳 優花 幕末京都の警備体制―京都見廻

組について―

坂本 里穂 中世人の死生観―葬送死穢の観

念から―

迫 竜之介 室町時代における南禅寺について

―足利義満との関係を中心に―

末廣 淳人 黒田官兵衛

諷佐 明穂 彦根城における縄張

釋 浩紹 朝鮮出兵の軍事拠点肥前名護屋

城

竹尾あかり 石田三成の政治的立場について

―石田三成襲撃事件を中心に―

立山 史香 江戸時代の政治・宗教と民衆生

活

田中雄一朗 地方公文書館の文書管理システ

ムからみたアーカイブズのあり方

富高 大智 広瀬武夫―作られた英雄の生涯

―

長尾 章吾 江戸城について

中島健太郎 日田天領について

野下 裕子 徳川家康の政治・政策

萩野 輝一 徳川三代の政治

濱砂 淳 江戸吉原遊郭について

前村 迪啓 郷中教育―薩摩の「礎」となっ

た青少年育成体制―

増丸 飛鳥 初期洛中洛外凶屏風について―

上杉本歴博甲本を中心に―

薬師寺悠太 杵築城と杵築藩について

山川 恭真 島原城について

山崎 裕里 古代の朝服・礼服法令からみる

衣服の唐風化

吉田 進 『新論』から見る会沢正志斎の思想と会沢正志斎と古学との共通点

吉永 秦司 紀州雑賀衆の実態について―信長・秀吉に抵抗した者たち―

米田 達朗 小田原城と豊臣秀吉について

〈世界史コース〉

秋山 達哉 ナスカの地上絵及びナスカ・ラインの作成目的とその考察

池田 隼人 漢武帝の対匈奴政策について―馬邑事件を中心に―

伊藤 誠也 戦国時代における趙の興亡について―外交政策を中心に―

岩崎 彰廣 インドネシアの宗教について

上田 活土 トルコがなぜ親日国になったのか

奥津杏都美 ロゼッタストーン発掘史

尾籠 恭平 カロリング朝フランク王国における経済状況

加藤 真樹 オスマントルコの近代化

喜多 康之 七世紀における東アジアの国際関係―唐と朝鮮半島・倭の外交関係を中心に―

坂田由香理 近世ヨーロッパの魔女狩りの原因についての考察

清水 栄信 キリスト教の成立とユダヤ人の動向

杉田 孝政 レオナルド・ダ・ヴィンチの生涯

染矢 久志 飲料と砂糖の歴史―世界に変化をもたらした商品―

武瀬 孝海 プラトンとアカデメイア―リュケイオンとの比較から―

田中 佑規 六鎮の乱と爾朱氏政権

玉城 周 アジアの中の琉球王国

流川 建 ストーンヘンジ建造に関する諸説とその考察

野田 豪 第一回三頭政治期以降のカエサル

前田 夕奈 黄金時代におけるスペインの国力とは

馬原 英路 フランス革命と戦争

宮木 博史 百年戦争とジル・ド・レ

村田 俊幸 大航海時代とポルトガル―航海王子エンリケを通して―

山口 駿 グリム兄弟童話

山本 美鈴 鉄の帝国ヒッタイト

渡邊 神威 ラ・テヌス文化とカエサル

渡邊幸太郎 モンゴルの歴史と文化

〈環境歴史学・文化遺産学コース〉

磯部 真生 宗像大社の秋季大祭―その歴史

太田佳那子 美山窯元祭り―まつりが与える人々への影響―

甲斐 美晴 「天孫降臨」に関する研究

吉良あやみ 方言と標準語の共存―大分弁を例として―

佐藤 友香 塩の力―大分の食文化と塩利用について―

高野 将太 定朝の革命―日本の仏像彫刻史上の中で―

種生 優美 吉原へのまなざし―浮世絵を通して―

仲宗根彩華 宮古島のノロ、ユタ、ツカサ―社会的地位と人々の認識―

日野倫太郎 日本における大豆の意義

宮川 理奈 三原村の太刀踊り―その特徴と地域との結びつき―

〈考古学・保存科学コース〉

安部 和城 横穴式石室の構造と石材架構―早良平野を中心として―

井 大樹 須玖式土器の伝播からみた文化変容―特に九州を中心として―

井樋 豪太 西北九州における細石刃文化の再検討―特に福井洞窟出土の資

	料を中心として―		
江口 寛基	隼人の特質について―南九州諸国における住居址の展開と相違点―	眞謝 太地	容と展開 グスクの城郭の変遷について
大谷 享	帆の出現と発達による古代・中世の船の発展の歴史―それに伴う海上交流の発展に及ぶ―	松井 琢磨	15世紀から16世紀における日欧城郭の変遷過程の研究
久我 一生	近世初期における火繩銃の形式変化について	松園 菜穂	出土鉄製品の錆の様相―保存・保管のためのデータベース化―
後藤愛優美	九州における縄文時代の耳飾りについて―特に耳栓を中心として―	山本 真央	三次盆地における帆立貝形古墳
白川 優太	小倉城下における出土銭研究		
沈 寧涛	文化財の保存修復の歴史と金属修復技術―中国と日本および西欧の比較―		
爪丸 雄太	先刻壁画を持つ装飾古墳の検討―特に船、鳥、木ノ葉文葉を中心として―		
中嶋 小春	交易から見た伊都国の繁栄について		
深田ひかる	大分県内における古代寺院跡の瓦について		
藤井 幹也	大分県における装飾古墳の特質について		
藤川 貴久	遠賀川流域における須恵器の受		